

週寫眞 報

情報局編輯
四月十四日 第二十六十七號



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

寫眞週報

情 報 局 編 輯
四月十四日 第二六十七號



制服から作業衣へ
諸君は日本の
戦車を軍艦を飛行機を造る
逞しい少年工になつた
諸君が得る収入は
國家が支拂ふお金です
よくないことに使つては
君達をゆがめ、國をむしばむ
二重の罪惡です

(育つ少年工諸君へ)

「時の立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



東條 總理 滿洲國を訪問

さきに中華民国の首都南京を訪れて汪主席以下國民政府要人と大東亞戰爭完遂の盟約を交はした東條内閣總理大臣は、その後二週間を出でない去る三月三十一日東京を出發、佐藤陸軍軍務局長以下各秘書官帶同て友邦滿洲國の首都新京を訪問、滿洲國皇帝陛下の御機嫌を奉伺し、建國以來の同國の飛躍的發展を祝福、且つ大東亞戰爭以來わが國によせられてゐる全面的協力に謝意を表するとともに滿洲國首脳部と親しく懇談を遂げ、併せて現地諸機關の状況を視察並びに慰問を行つたが、滿洲國朝野をあけての歡迎裡に訪滿全行事を滞りなく終へ、四月四日福岡着、歸京した。

餘暇をさいて張國總理家庭を訪問、張總理と握手を交す東條内閣總理大臣、中央は張夫人

忠烈の武勳燦然たる

第二特別攻撃隊 第十隊 海軍等士 葬同

海軍中佐 秋枝三郎 (二十七歳) 下關市豊浦村出身
海軍中佐 中馬登四 (二十六歳) 鹿兒島縣薩摩郡上東郷村出身
海軍中佐 松尾敬宇 (二十六歳) 熊本縣鹿本郡三玉村出身
海軍少佐 仲 勝久 (二十五歳) 愛知縣碧海郡高瀬町出身
海軍大尉 岩瀬勝輔 (二十二歳) 香川県綾歌郡山田村出身



神出必勝
海軍特務少尉 秋枝三郎

忠孝
海軍中尉 中馬登四

誓期成功
海軍少尉 松尾敬宇

一發必中
海軍中尉 仲 勝久

豪氣將吞五大洲
海軍大尉 岩瀬勝輔



忠勇
海軍一等兵 竹本正己

轟沈
海軍一等兵 大森猛

發揮百練技
海軍一等兵 戸邊守

七生報國
海軍二等兵 高田高三

勇武
海軍一等兵 都竹正雄

海軍省公義 (昭和十八年三月二十七日十時) 昭和十七年五月三十一日特殊潜航艇を以てダイエゴ・スワレス島及びビンドニー港に突入し偉功を奏したる第二特別攻撃隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通り感状を授與せられ右の旨と聞に達せられたり

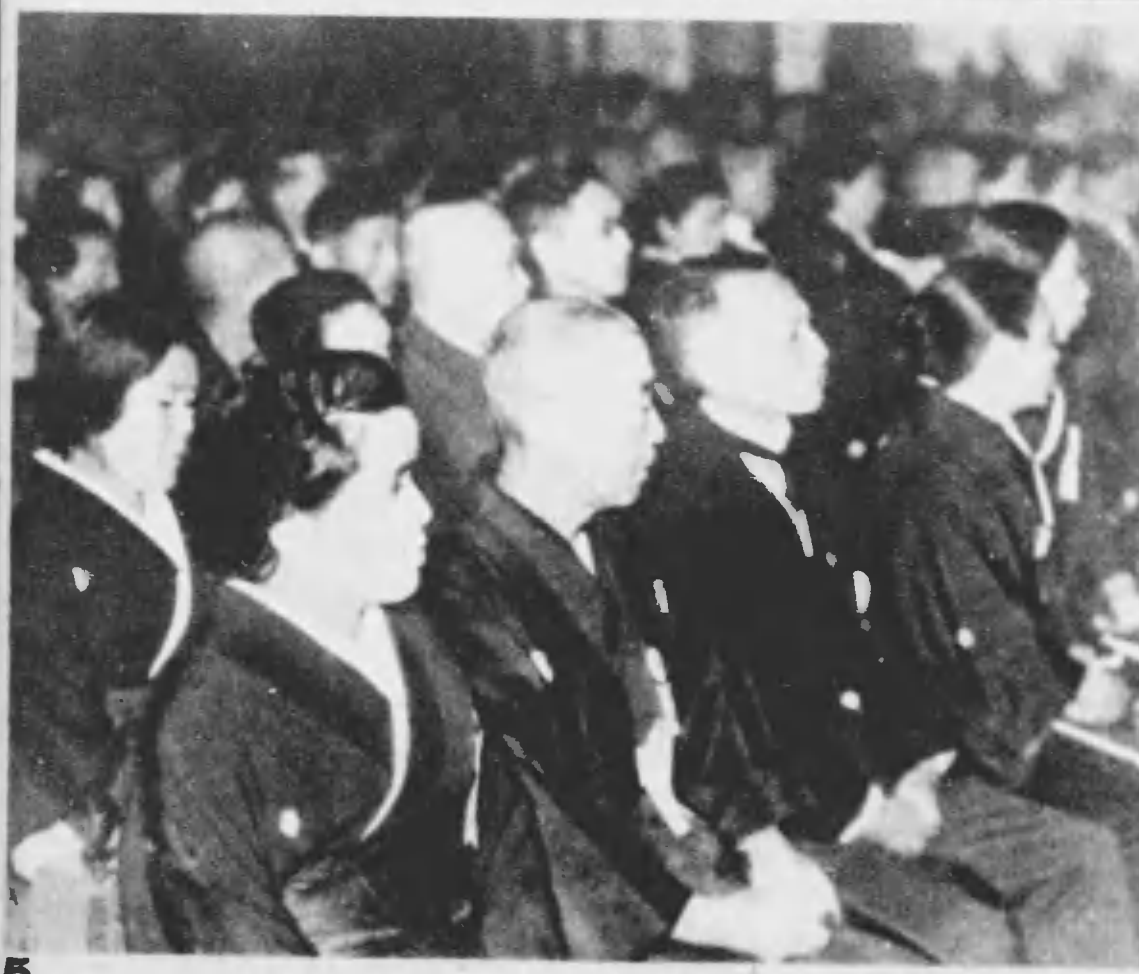
宣誓
一我等帝國海軍人として名譽よく
二我等〇〇〇〇東軍初志貫徹
三我等帝國海軍人として名譽よく

壯絶を前に發した第二特別攻撃隊勇士の絶筆

昭和十七年五月三十一日敵英國艦隊をダイエゴ・スワレス島及びビンドニー港に奇襲し多大の戦果を挙げ帝國海軍人の忠烈を克く中外に宣揚し全軍の士氣を振作したるはその武勳披瀝なりと認む
仍て茲に感状を授與す
昭和十七年十二月八日
聯合艦隊司令長官 山本 五十六

我等帝國海軍人として名譽よく
第二回特別攻撃隊

昭和十七年五月三十一日、西インド洋上の英國艦隊根據地マダガスカル島ダイエゴ・スワレス島と赤道を越えた澳洲ビンドニー港に日と同じうして奇襲を敢行し、在泊中の英國艦隊に徹底的な打撃を與へ、大いなる戦果を挙げた第二特別攻撃隊の武勳は畏くも上聞に達し、十勇士は二階級進級の恩命に浴した
昭和十七年五月三十一日と年月こそ變れ、奇しくも同じ日の三月三十一日、純忠壯烈の十勇士はじめ、護國の華と散つた海の勇士〇〇柱の大東亞戦争戦歿者合同海軍葬は吳鎮守府において厳かに行はれた
吳鎮守府で行はれた合同海軍葬に高橋吳鎮守府司令長官は愛惜の念を一言一句にこめたる感状を授けられた
全列の第二特別攻撃隊十勇士の遺族



ぼくらの友達を 射殺した米機の 仇はきつと討つぞ

昨年十月が軍律に照らして嚴重処分され
 たわが本土空襲米機の搭乗員は、その取調に
 際して「故意に學校、病院等の非軍事施設
 を銃撃、又は焼夷したことを認めればかり
 か、校庭に遊ぶ児童なき國民學校の児童をみ
 つけ急降下して機銃掃射を浴びせて殺傷しな
 がらこれを當然の行動なり」と陳述したので
 彼等米英人等の行つてきた鬼畜のやうな人
 道を無視した惡虐非道な行爲は、数へ上げれ
 ば数限りもない程である。だが、頭はない兒
 童を取つて射殺したこの一事こそは、まさに
 わが同胞の上に加へられた彼等の殘忍性を最
 も端的に語るものとして、未だ生々しい記憶
 をわれら同胞の脳裡に刻みつけられてゐるの
 だ

うだ、断じて撃たう米英！
 × × ×
 いたいた犠牲者としてこの敵銃撃に散つ
 た石出巳之助君の學んでゐた東京市〇〇國民
 學校では、あの日以来片どきも消えることの



ない悲憤を全校一丸の戦意にこりかためて、
 可憐な學童達は、石出君の仇を討たうと米機
 撃滅の一心に燃え立ち、今年の卒業生達はこ
 そつてわが翼の戦力増強に少年戦士としてお
 役に立たうと、陸海軍をはじめ民間の航空機
 工場に雄々しい腕を振つてゐる
 又、在校生はこの犠牲を生きた教材として
 防空訓練に、學課にとひたすら米英撃滅の決
 意を示してゐる。亡き石出君の級友の作文に
 その可憐な決意をみることにしよう
 石出巳之助君の二周忌をへて
 東京市〇〇國民學校高等科二年
 鈴木 繁三郎

正し日本の飛行機が飛んだ!! と突然四月十八日
 墨田の敵機がこの神聖な空に現はれて石出君をた
 はして逃した。くやしい。どう考へてみても現
 念だ。墨田の空にたはされた巳之助君の遺念だらう。
 さつとこの仇は討つ、この復讐の情にもえ
 た心をどうしてくれよう。月日はどん／＼過ぎて
 早くも巳之助君の二周忌がきた。今日もお墓を掃
 除して巳之助君の墓に置つた「撃ちてしまふ」
 撃ちてしまふと
 僕達が社會に出るのあとと備かだ。そしたらあ
 こがれの戦隊兵に。あゝ待たれるのは空を飛ぶ日



「惡運銃撃戦
 士」の戦名も
 いた／＼しく
 眞新しい位
 情が、無言の
 うちに訴へて
 ゐる。敵米英
 の暴虐ぶりを

近づく四月十
 八日、少年達
 の頭に浮かぶ
 のは憤しい級
 友石出君の面
 影であり、断
 然と敵意が湧い
 てくるのだ



を事仕と覺自の人本日ふ戦に年少たつ過



少年保護記念日
四月十七日十八日

少年保護記念日にあつた少年保護会員と職員の前庭に心をこめて花を飾る少年たち



少年たちは、もはや第二の國民ではない。戦争は、少年たちにも日本國の最前線にあり、その一翼をしっかりと擔ふことを求められてゐる。これは過つてを犯した少年について同じことだ。環境、性、戦争の影響などによつて、少年の性格が定まらず、しるすく暗い行路を進んで、またまた少年たちにも、罪として時局の悲劇は控へてゐる。單に社會の受害者として悲劇視したり、人生の再出発を待つだけではすまされない。我々日本の勢力な空位として一日も早く國內の戦線に復帰し、ハンマーを振り、旋盤と車組み、あらゆる方面で生産増進の重要任務に就いてもよいではないか。

「戦つてゐる國民の一員である」といふ自覺に覺醒し、あくまでも大東亞戦争を戦ひ抜かうといふ決意によつて犯した罪を正し、過つた行路から覺醒せよといふことには、少年保護の真の意義がある。

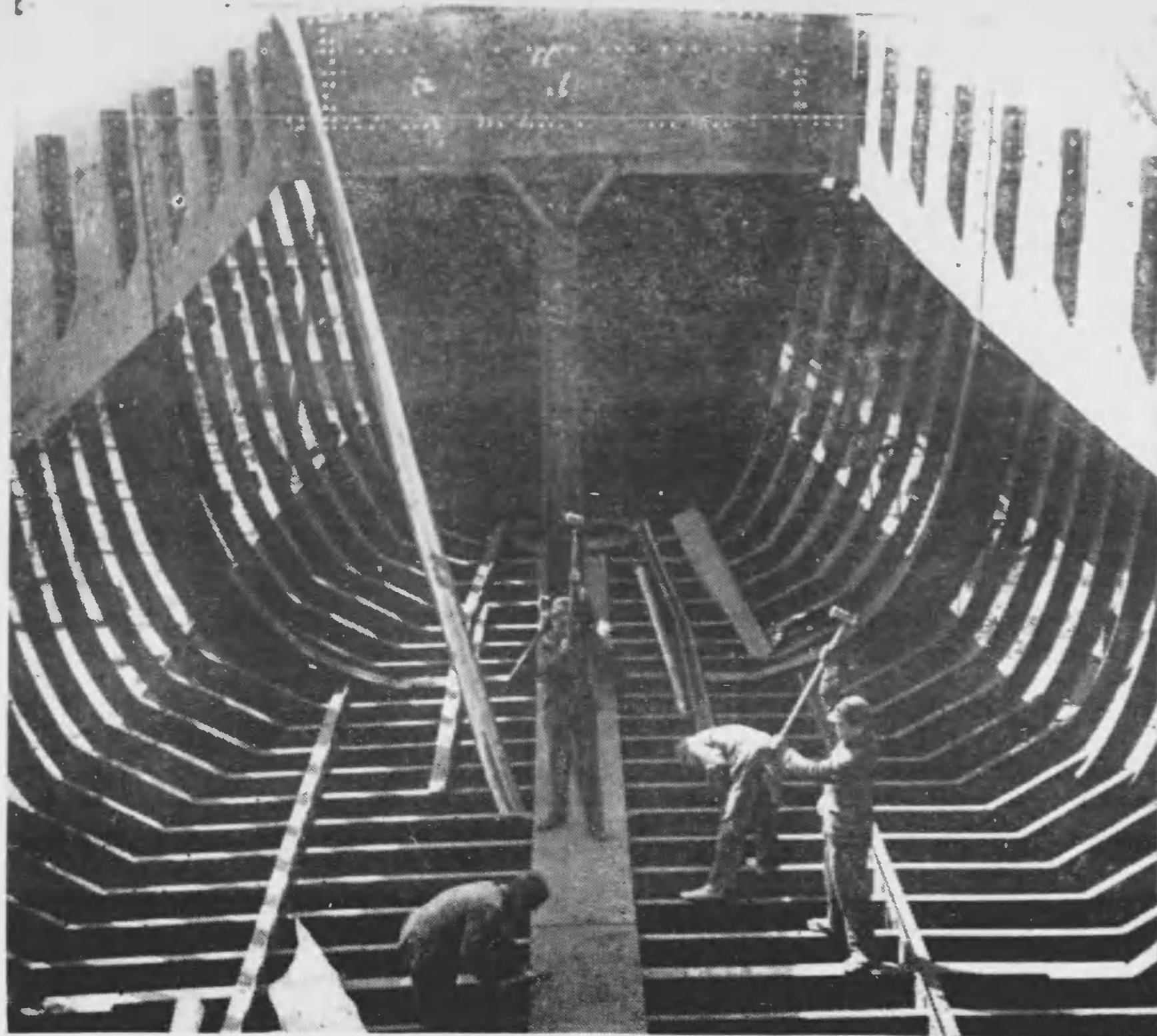
静岡縣清水市三保の造船所内にある三保松風寮は、その使命と意義から、新しい教化指導の方法を實踐に移してゐる少年保護團體の一つである。こゝには矯正院の短期訓練を終つた少年たちが收容されてゐて、朝七時から夕五時まで一般工員に入り交つて造船所の作業についてゐる。きびしい監視の眼もなく、勿論報酬もない。あるものはたゞハンマーとドリルの唸り、塵しい生産の調べだけである。この艱苦の中に磨きこんでゆく少年たちは、造船鐵工、船装鐵工として或ひは運搬などの重役に、懸命な流汗録成によつて一枚一枚づつ過つて身につけた悪い殻を破つてゆく。

昨年十二月第一回生を入寮させ、未だ時日を経てゐないので確定した成果を云々することは出来ないが、これまで事故もなく、創立當時の不安は一掃されてゐる。かへつて退寮生の中から引續き造船所に居残つてゐるものの中には、一般工員よりも素晴らしい作業をあげてゐるものもある。

三保造船所

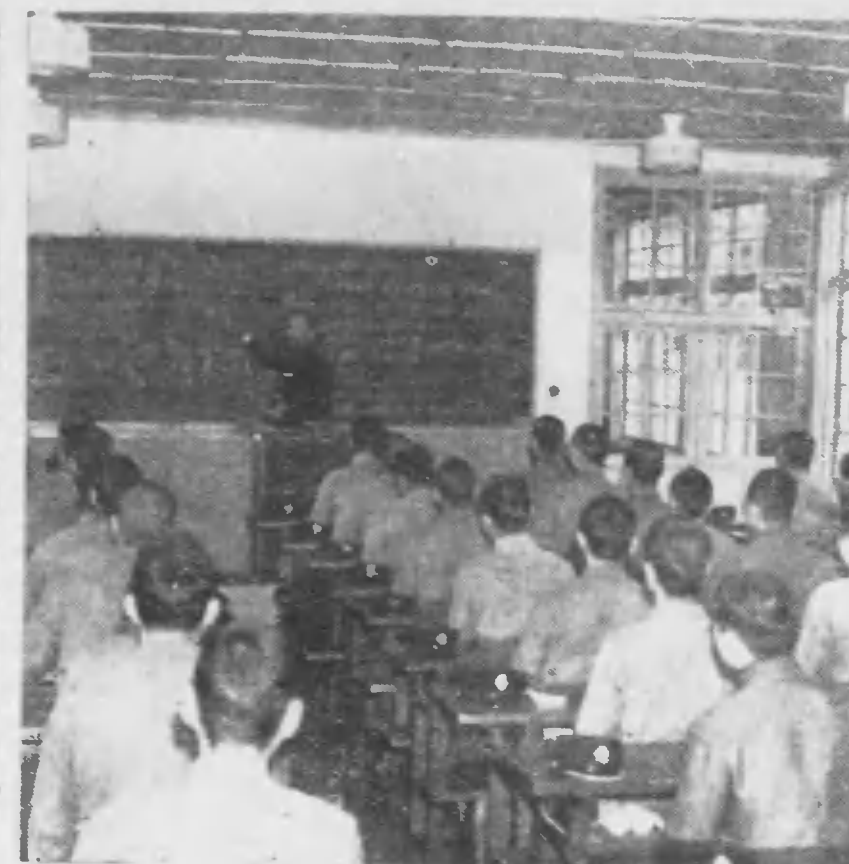


寮から造船所への往復も、規則正しく清潔に、新足で無き無想、たゞ一生懸命にボルト締め、うらゝかな春日に少年たちの指導には、清水事務所をはじめ當時指導主任のみなさんならぬ苦心と愛がこめられてゐるが、少年に接する一般工員も厳格だ。



寮生活は、身に着けるハンマーを振り上げる勇氣が正しい道を強く歩ませる。作業も終り、夕食、入浴もすませて、就寝までの楽しい、いいき、寝たあとにふと目が覚め、何時かあはれて……





年 青 道 鐵 る す 成 鍊

京 東

↑ 晴れの食間の日、武装の錬成
隊員は青少年學徒に賜はれた
る勅諭を讀んで讀みあげます
職掌科では各職場々々に應じ
てこれら、専門の技術を得得
します
この腕、この腕、この腕、この腕
戦時下の鍛錬を期す諸道師
の大さな誇りと、いませう

↑ 幾何の時間、整然とした秩
序の中にも不調の訓練が
かまはれます



↑ 浪軍備も、それかゝる侯を前に
おさへて力走、力走……

この錬成所は地方の青年學校に當るもので、鐵道業務の性質上、青年學校に通學できないこれ
ら青少年を毎月短期間づゝ錬成所に入所させて、精神的訓練、軍事的基礎訓練をほどこし、一方、各
職場の特性に準じて業務講習會を開催、輸送報國の第一線部隊としての技術を錬成してゐます

鐵道省では全國に約八十ヶ所の鐵道青年錬成所を設けて、
戦時下輸送の第一線に従事してゐる青少年職員の特別訓練
をしてゐましたが、東京鐵道局管内約一万四千名の職員
はこのほど東京市外吉祥寺の鐵道青年錬成所に集合、
師團長務部長松本少將の訓令を受けました



↑ 隊員(右)、防毒面被服(左)の食間を受する諸道師





銀座の街路燈も徴召

第一次金屬非常回收始まる

東京市民になじみ深かつた銀座の街路燈が、決戦の春、第一次金屬非常回收のさきがけとして赤煉も凄々しく徴召、米英聯軍の軍艦に戦車に生れ代る。神武天皇祭の四月三日、その撤去式が銀座四丁目交差点の道路上で銀座通商聯合会の人々によつて行はれた。撤去は紅白の布に彩られた一番燈が参列者一同の手によつて引き降されたが、これに引續いて銀座通り百四十三本、三原橋通り十四本が次々と回收される。『銀座の灯』として詩や歌にまでうたはれたこの街路燈は昭和五年建てられたもので、一本百七十貫の鐵製である。



比島人に働く喜び

島半ンアタバ
年一領占全完

凡島バタアン半島が完全になが手に占領されたのは一年前の四月十一日であつた。罪のない比島住民を餓死線上に彷徨させ、比島兵を弾除けに酷使して残忍な焦土戦術を敢へてしたあの軍兵を皇軍のおかげで一人残らず駆逐できたバタアン半島は、それ以来、一章焦土の中から起ち上らんと努力をつづけてきた。その甲斐あつて軍政下に建設の進む比島人現今の表情の何んと明らかなこと。



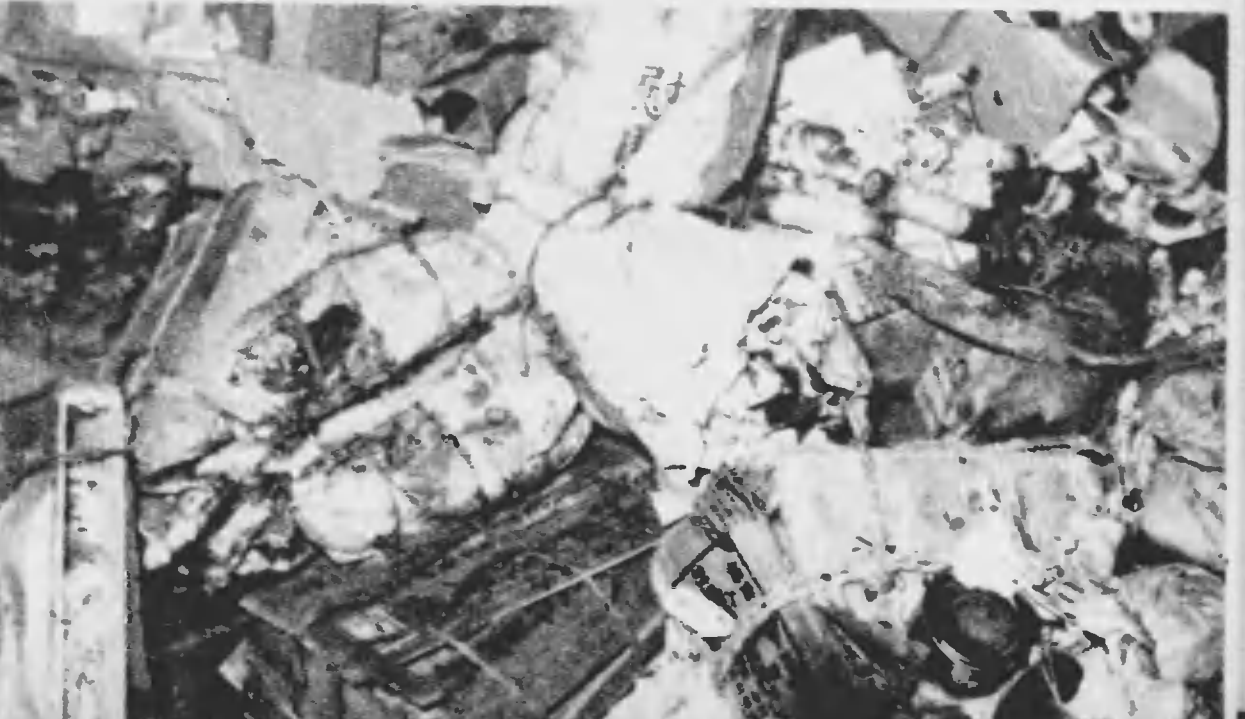
比島工場に元氣に働く比島人子ども



明くるは戦 (四) 郵便屋さんといふ歩み 眞週報



丁度差立の時間だつた。自分達が済んだ郵便や小包は行囊に納められて個数を調べた上送送されるのだ。この大きな郵便局の裏口には赤い郵便自動車が出立、静かに待機してゐた。そこには國家が法をもつてその業務の遂行を保障する尊厳といふものが感じられた。普通の車馬なら通行することのできない地點をも突破して、送達してゆく郵便自動車。『眞週報』は通信事業といふもの、重要性をこゝで改めて考へてみた



どんな離れ小島へも、またどんな山奥の一軒屋へも郵便物は配達される。雨の日も風の日も郵便物をきつちり詰めた重い靴を履いて一日延六、七里、『郵便屋』と配つてゆく郵便屋さんは足が資本だ

街頭の赤いポストがどんなに親しみ易いものであるか、また郵便受函に郵便物の影をみないときどんなに物足らなさを感ずるか、それは誰にも共通した氣持であるにちがひありません。或る統計によれば、全國を平均して一世帯が郵便局と交渉をもつ回数、いひかへると郵便局のお世話になる回数は年に千回を越えてゐます。そこでふは一つ、私たちの生活と切つても切れないこの郵便局を裏から表から覗いてみることにしました。折がよければ郵便屋さんのあの大きな靴に入れてもらつて、市内をあらちちら歩き廻つて見ようといふ寸法です



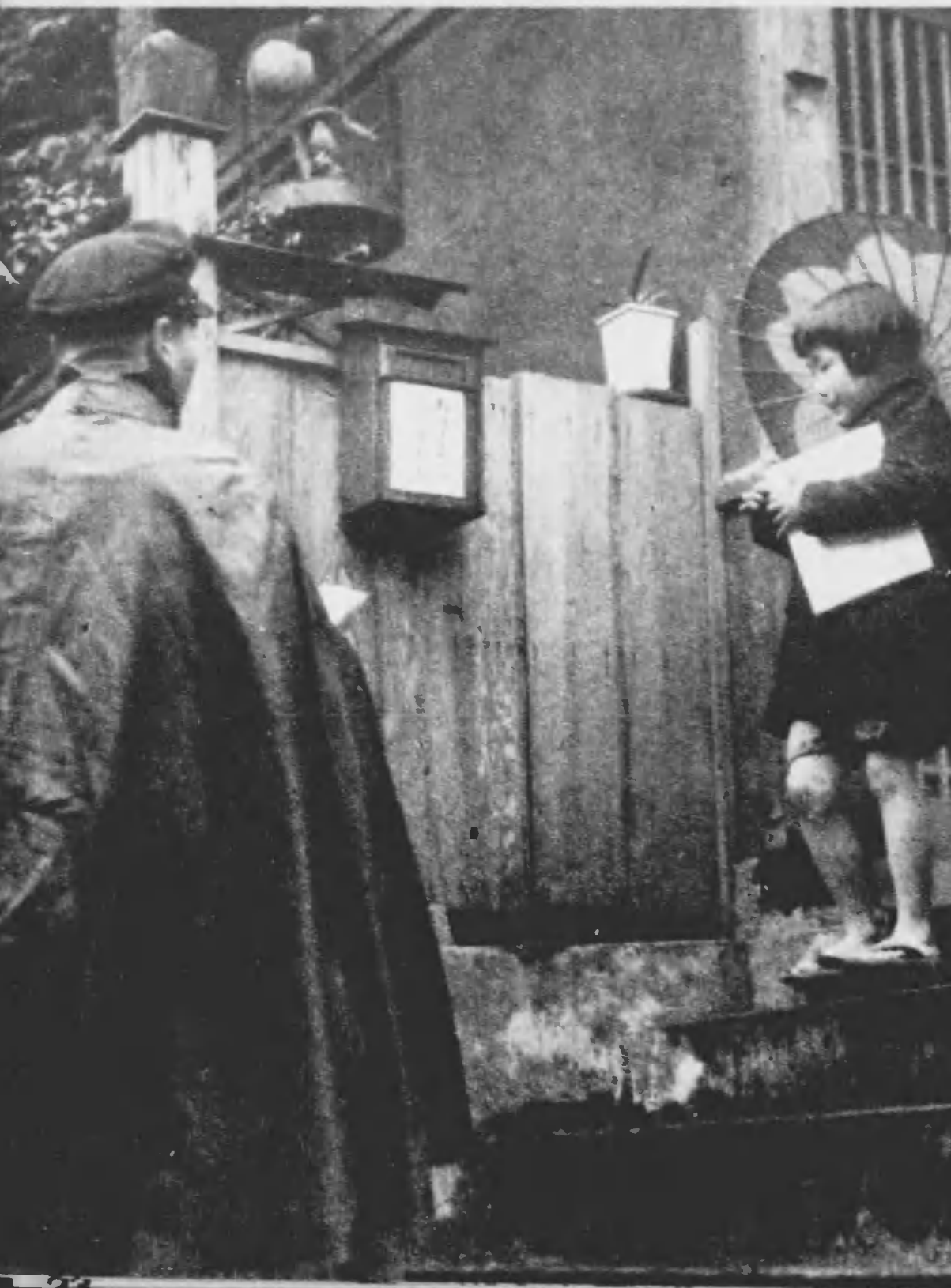
小包の作業場で驚いたのは、破損小包の實に多いことだ。包装が破れて内實が散らかつてゐる菓子や果物や生魚、味噌漬の汁でべつとり汚れた洋服や雑巾など、修理場はむしろ慘憺たる有様だつた。修理員の勞苦も生やさしいことではなからう。紙も悪くなつてゐる、紐も弱くなつてゐる。だが、それだからこそ、なほさらに包装を完全にして、抜いた取つたのいやな話は戦時下から一掃したいものである

『眞週報』は引續いて郵便局の玄関ともいへる窓口を内側から覗いてみた。だが、流行に戦時下であつた。こゝにはもう金網越しの鐵を斜め張つたやうな公衆もなく、また笑顔を見せるは損をするといふやうな局員もゐらず、和やかな露國氣のなかに彈丸切手が果ぶやうに賣れ、貯蓄の成果が擴大されてゐた。最後に立つた電信の窓口では、忙しいなかにも一人の老婦に示す局員の親切な態度に明るい窓口の表情を満喫した

折よく郵便物の取集めに出かける自動三輪車の背中に乗せてもらつた。集配手君の話によると、繁華な市街地ではかうして取集めに一日最高十二回夫々の受持區域を廻るのださうだ。少し遠くなると一貫何百文といふ高い料金を拂ひ、長い日數を費して飛脚を頼んだ昔に比べて何んといふ變り方だらう。さういへば、この四月二十日は明治四年、日本に初めて現在の新式郵便制度が實施された通信記念日だつた



昨夜郵便局で一夜を明かした『眞週報』は、郵便屋さんの靴に入つて春の街へ出た。路をばさんでうちつづく向ふ三軒兩隣を行きつ戻りつ一軒々々郵便物を配つてゆく郵便屋さんの黒い合羽に明るい雨の雫が光つては流れ落ちた。ほんたうに大變なお骨折りだ。靴の中から思はず聲をかけた。それは一軒の家の郵便袋だつた。その受函に貼られた『ご苦勞さま』の文字を見たとき、『眞週報』はとても明るいものを感じた。心なしか郵便屋さんの足よりも急に軽くなつたやうに感じられた

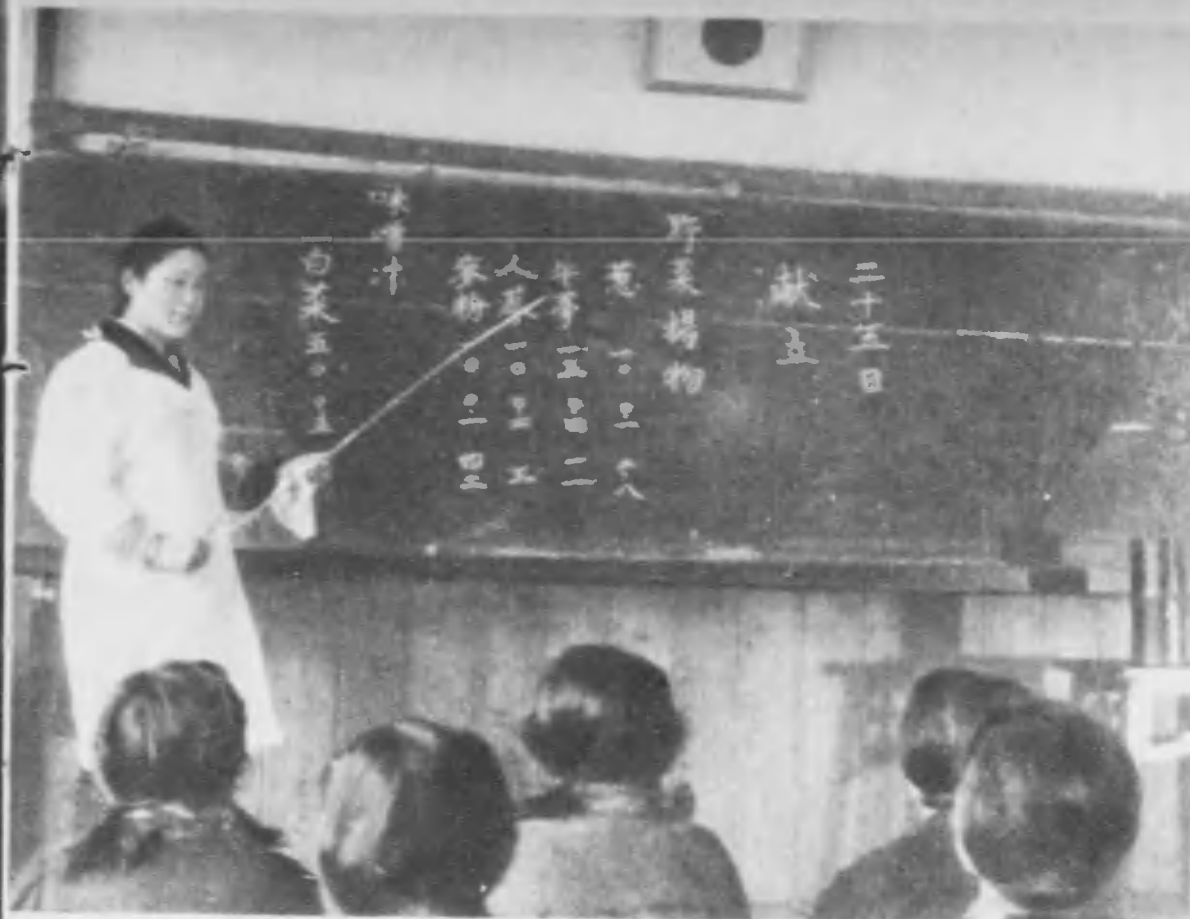


育つヨイコに栄養食を

受給室

富山市濱黒崎国民学校

育ち盛りの子供たちにとって何より楽しく、待ち遠しいものはお昼のお弁当でせう。戦時下少国民の健康は明日の日本を左右する大きな動力ですから、国民学校でも子供たちの健康増進にはいろいろの施設を工夫して、骨を折つてゐるわけです。富山市の濱黒崎国民学校では全校児童に学校給食をしてゐますが、この地方は半農半漁です。



ら、材料は子供たちの持寄りや学校で買入、調理は女子青年会のお姉さん方が交代で受持つてゐます。おかげで子供たちの健康状態も目に見えて良好、お姉さん方も家庭料理のつづを覚えて一石二鳥の實績をあげてゐます。

富山市 濱黒崎国民学校

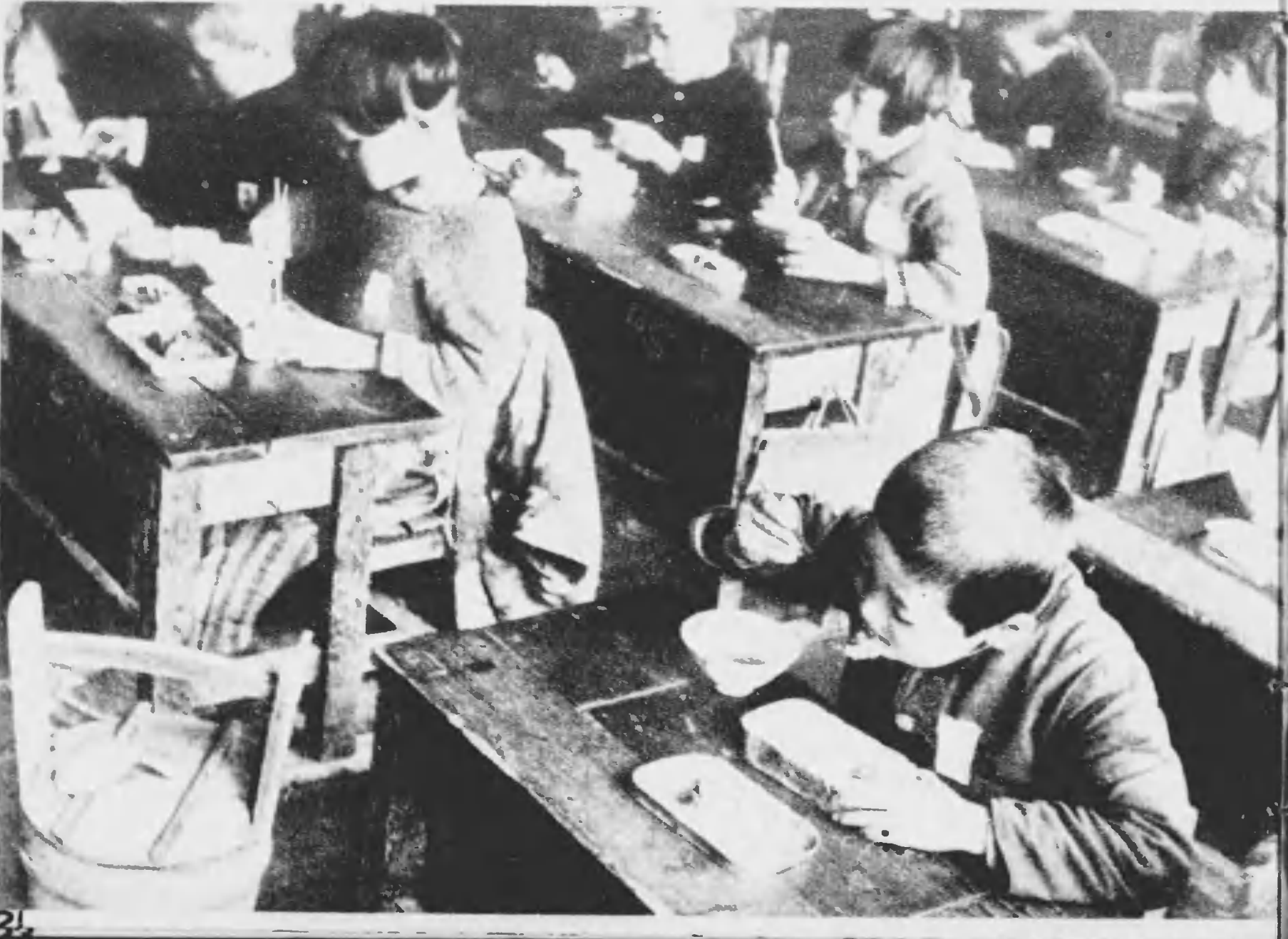
調理に先だつて女子青年会のお姉さんたちは先生から指導をうけます。今日のご馳走は野菜の天ぷら、どうしてなかなか見事な板前ぶりです。

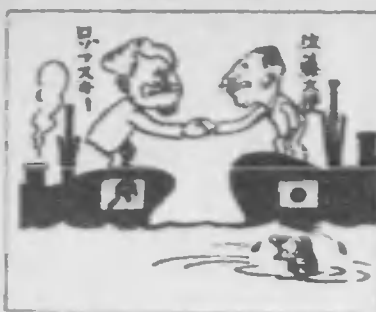
富市の子供たちが材料を持ちこむと、お姉さんたちははかりにかけて賣費で買入れます。



今日もおいしくいただきました。

ほいばらないで、よくかんで、ゆつくりいただきます。





十立陸軍協定野要施ノ目



— 經濟的基礎 —



右拉: 前肢支撑, 双掌近附地向前



ニ製成被其奥ントシテ應以要知



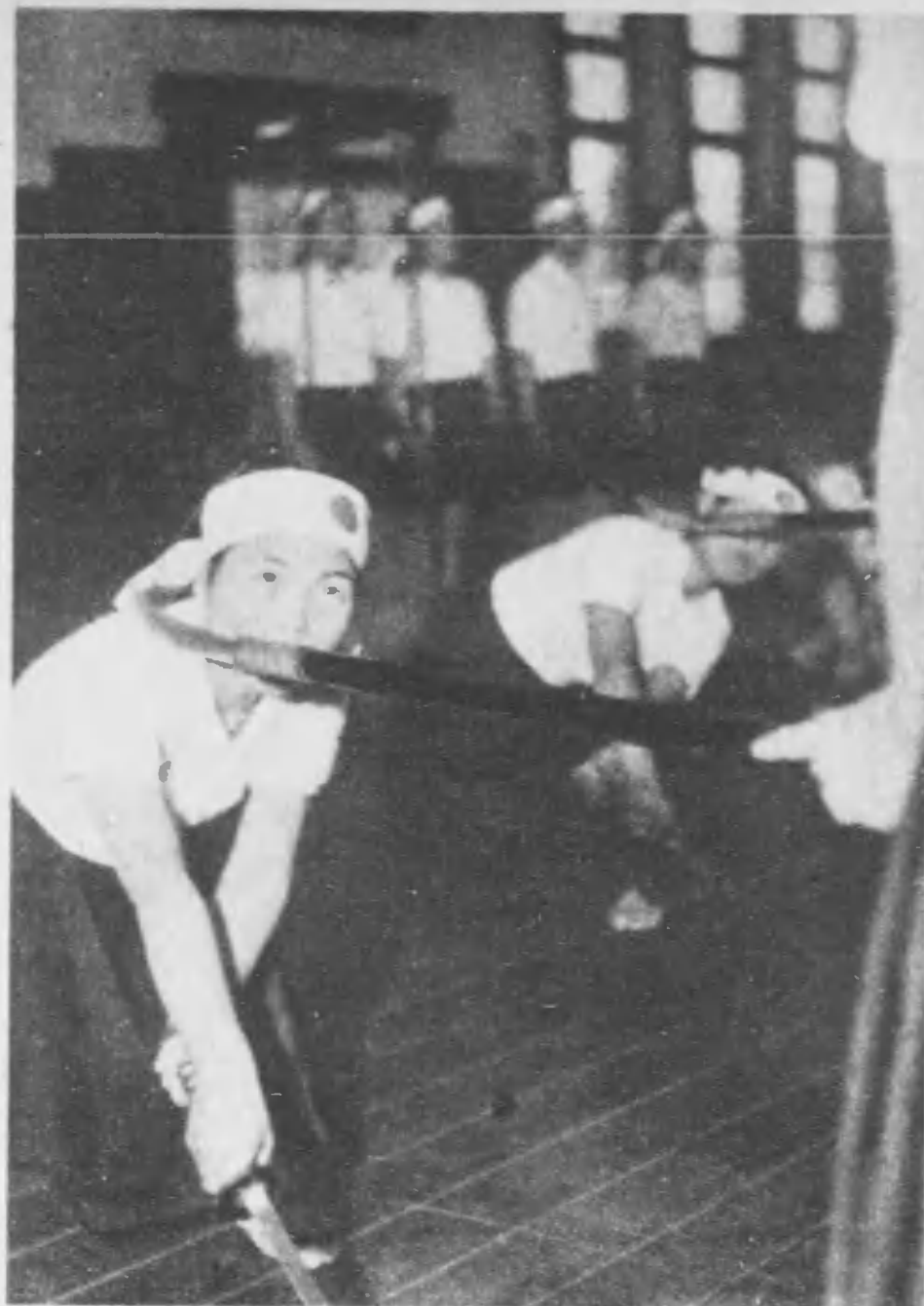
2.4.1 主要開發及潛在開發地




一、試驗方法：將 10% 酒精溶液



1990年1月1日




 前線に呼應して銃後もまた真剣勝負の気風で少くもねばならない。この決戦精神を文字通り練成に移してゐる國民學校がある。それは日本刀の産地として有名な岐阜縣岡崎の第一國民學校で、岡崎で作り出される日本刀、薙刀を眞剣のまゝ、使用して武道を行ひ、少國民に日本魂を吹き込まうと努力してゐる。



お役人自演の勇士
慰問演劇會
富山縣廳

富山縣廳では飯米英撃滅に
日夜猛烈な闘戦を続けてゐる
吏務第四十八部隊勇士を慰
めたいと職員で演劇團を組織
したので○名自演の慰問
演劇會に○名の勇士を招待
仕事の暇に練習したお芝居、
披露したところ、その姿容を
望み、舞踊等の得意な所を
流石の鑑者連も抱腹絶倒、大
喜びの一日を送つた(女子職
員の舞踏)

こゝからお仲間達
は退席す

廣島縣廳

廣島市の鈴鹿燈は繁華街の
象徴として市民の間に親しま
れてきたが、この程「すべて
を戦争」の決意勇ましく率
先退席した





南滿洲鐵道株式會社

寫眞週報 昭和十八年 四月十四日 第三百六十七號

内閣印刷局印刷發行

前編版に本誌を
お読みになつたら本
誌を前編版間に送り
ませう。送料は内地
と同様で送料あるひ
は開封にして第三種
と明記すれば、一部
一袋です

所 達 申	定 價
全國各地官報 販 賣 所	▲特約配送御希望 の方は一部十錢 (送料一錢)の割 合を以て前金を 添へ御申込み下 さい
書店・書賣店 新聞販賣店 寫眞材料店	▲特大號の場合は 其の部度御拂込 金より差額を申 受けます
	一部十錢 (送料一錢) ▲外國郵送に依 る場合は送料 共一部十九錢

寫眞週報
(禁轉載)
昭和十八年四月
十四日 印刷發行
編輯者
情報局
東京市墨田区
永田町一ノ一
印刷者
内閣印刷局
東京市墨田区大工町

(列強報道：A4所載定価はより大の書本)